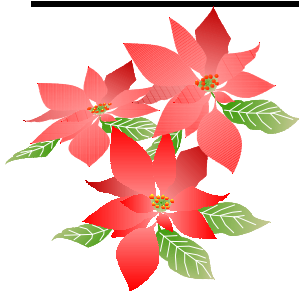


## こんな時こそ、学校に元気、子どもに元気、先生に元気を！



平成23(2011)年も、残すところ二週間足らずとなりました。今年は、3月11日の東日本大震災や大津波による原子力発電所の事故により、事務所管内の多くの施設が被災しました。校舎が被災し他施設での授業を余儀なくされた学校、施設の一部が損壊し授業に支障が出た学校など、多かれ少なかれどの学校も影響を受けました。

ところで、先日発表された『今年の漢字』は、『絆』でした。震災や台風被害を受けた多くの人たちが、変わらない日常のありがたさと人とのつながりの大切さを実感したからではないでしょうか。学校は、子どもが集まって学ぶ場所であり、良好な人間関係の下、教師が指導力を発揮し、子どもが協力し合い、助け合い、学び合って、学力の向上や心身の成長を図る場所です。年度末に向けて、子どもには確かな『生きる力』を付けさせたいものです。

### 第1回水戸地区ミドルリーダー養成研修会

去る9日(金)、水戸合同庁舎において、管内の中堅教員を対象に「第1回水戸地区ミドルリーダー養成研修会」を実施しました。この研修会は、「学校運営の中核として活躍している中堅教員に対して、さらに幅広い識見を得させ、実践的な指導力の向上を図ることで、管内の教育の振興を担うミドルリーダーを養成する」ことを目的としています。

当日は、全5回の研修会の第1回ということで、助川所長からは、『ミドルリーダーに期待すること』と題して、学校を取り巻く状況から教員に求められる資質能力、学校のあるべき姿を基に、学校訪問から見えてくる学校の現状と課題について、次のような講話がありました。

#### ○ 学力向上対策について

- ・近年の学力調査に対応できる「問題解決力」を付ける指導をすること
- ・「活動目標」ばかりでなく「達成目標」を意識した児童生徒中心の授業を行うこと
- ・小中連携の中で学習習慣の形成を図ること
- ・学力の二極化に対応する授業を行うこと
- ・少人数指導などを生かし自尊感情を高める指導を行うこと など

#### ○ 生徒指導対策について

- ・教師による指導ばかりでなく、生徒会活動や部活動を積極的に活用すること など

続いて行った演習では、自分がリーダーとなっている校務分掌の中で部員と共に学校の課題解決を図る、プロジェクトの計画を立てました。今回は、持参した資料を基に素案を考えグループで話し合いましたが、次回の研修会にはその計画を完成させることになっています。

この研修会は、単に教員としての資質能力の向上を図るのではなく、将来学校のリーダーとして学校運営に携わるのに必要な、実践的な指導力の向上を図ることを目指しています。そして、今回の研修生には、茨城の教育を担う有為な人材として育ててほしいという願いがあります。



PTAの窓

十二月三日、小美玉市の  
茨城PTAセンターにおいて  
開かれた。単位のPTAの  
大会では、発表や小中の  
創意ある実践や先生の基  
生によるアトラクションの  
調演などがあつた。基  
学校を支え、応援するた  
もが極下がりまじると  
てAの頭が下がりまじると